

【報告書】

会員調査2019

Ⅲ. 各項目の回答結果

4. 部門の活動への協力について

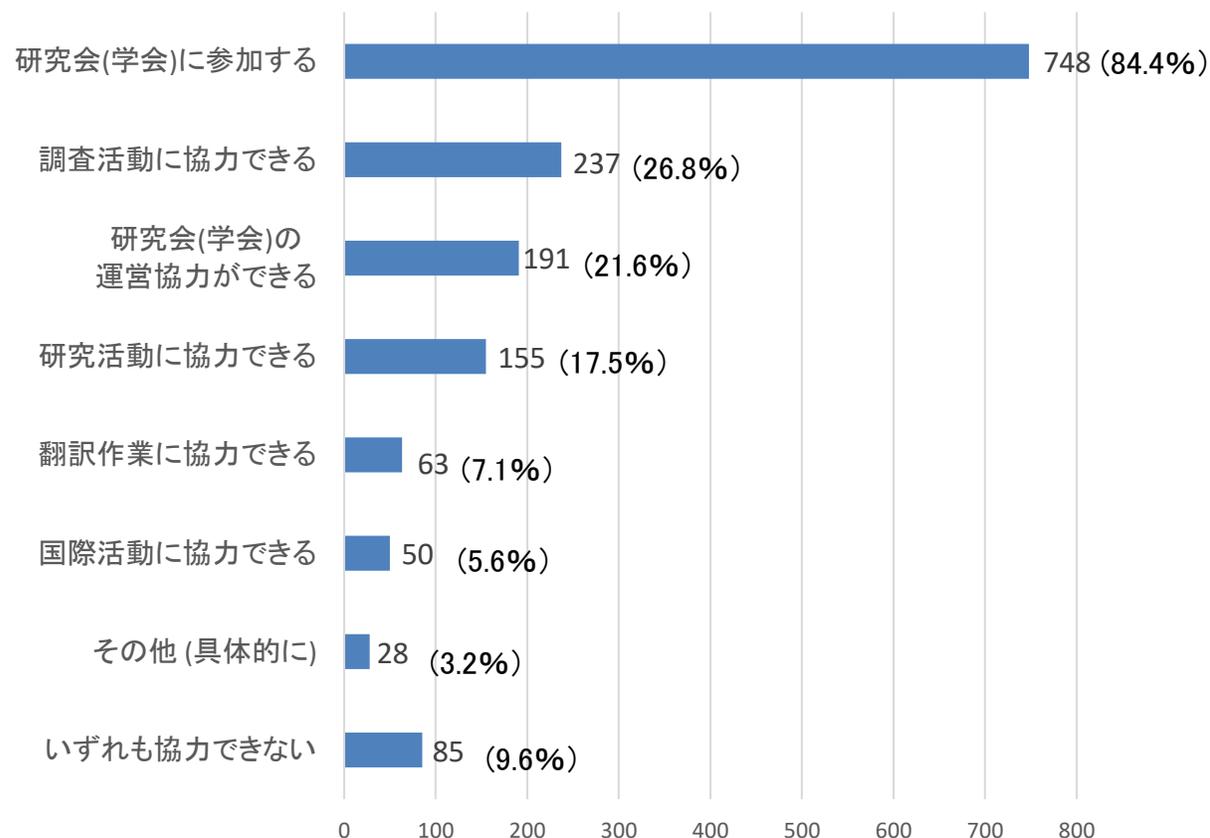
日本理学療法士学会

ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門

Ⅲ. 各項目の回答結果

4. 部門の活動への協力について

1) 今後の部門の活動への参加協力について



■ 今後の部門の活動への参加協力について(名)

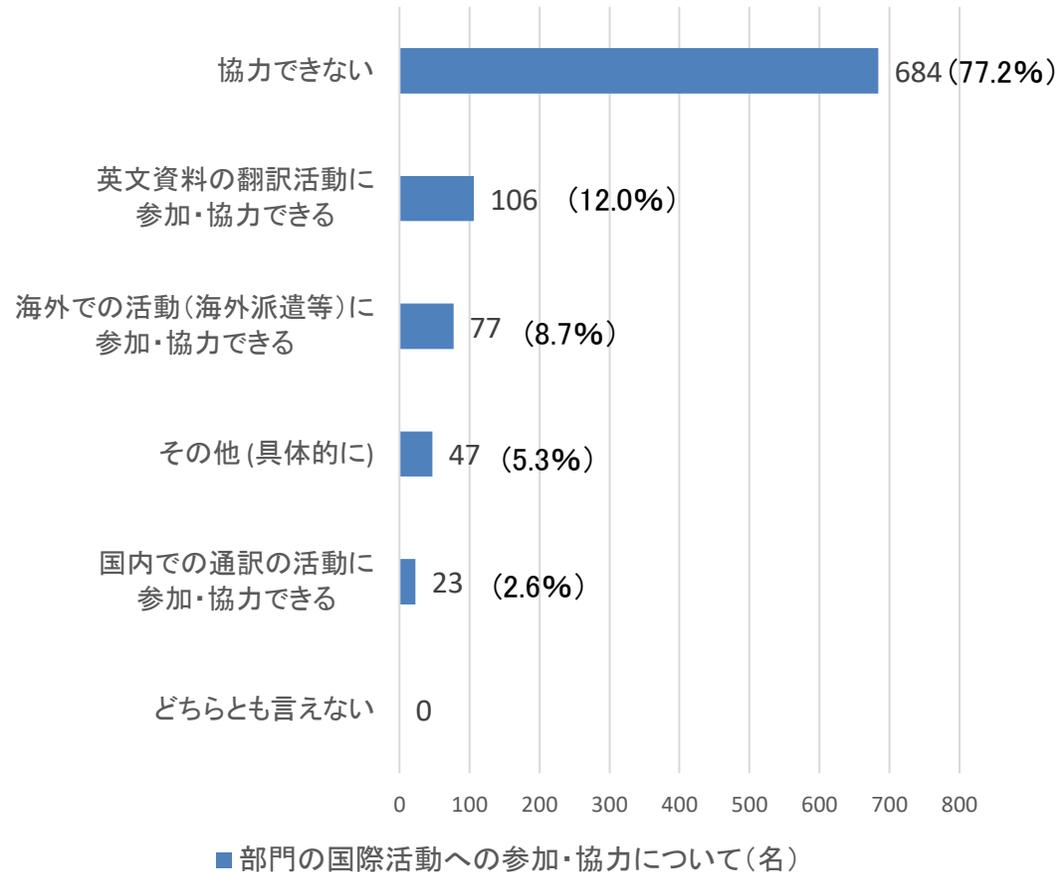
回答者数：886名 (75.2%)

《「その他」の内訳》

- ・ 具体的な活動の内容
- ・ 出来る範囲で協力する
- ・ 条件が合えば協力する、
- ・ 現時点ではわからない 等

部門の活動に参加協力出来ると回答した人の実数は780名(全回答者の66.2%)であった。各活動に50名以上の参加協力の回答があった。

2) 部門の国際活動への参加協力について



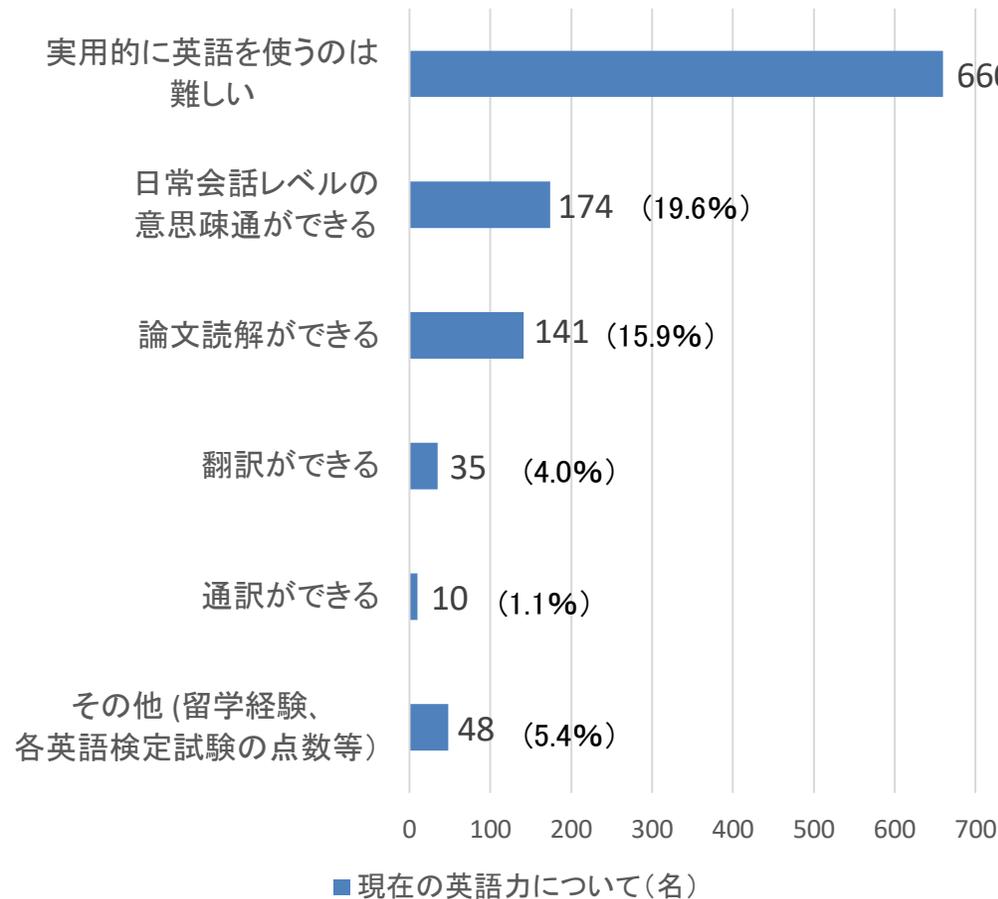
回答者数：886名（75.2%）

《「その他」の内訳》

- ・ わからない 11名
- ・ 条名付きで協力 10名
- ・ 協力したい・出来ることがあればする 12名
- ・ 出来る範囲で協力する 9名

協力出来ないという回答が約80%と多いが、「部門の国際活動に参加協力出来る」と回答した人の実数は161名(全回答者の13.7%)であった。

3) 現在の英語力について



回答者数：886名 (75.2%)

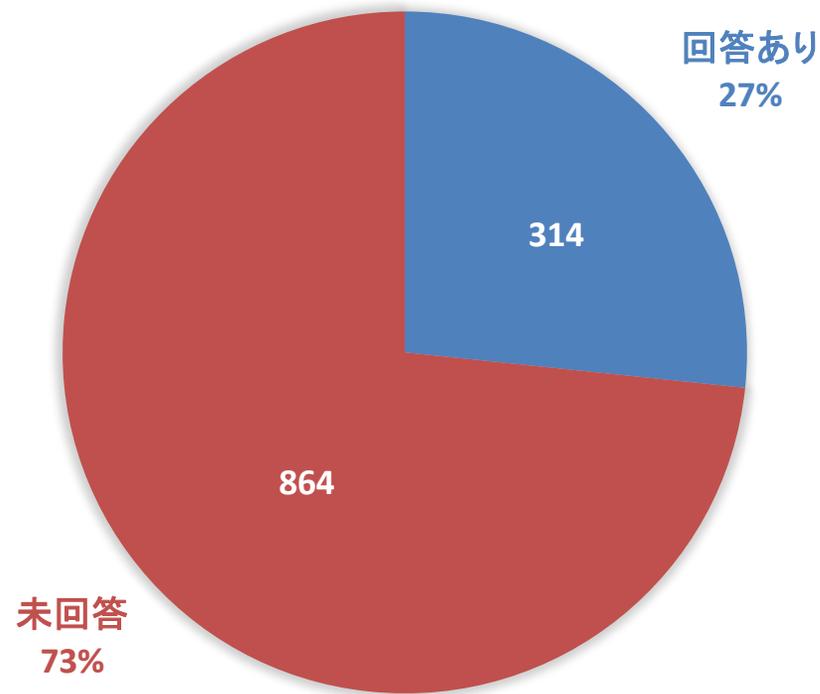
《「その他」の内訳》

- ・ 留学経験あり 14名
- ・ 英検(3～準1級) 20名、
- ・ TOEIC 8名
- ・ IELTS 5名

※IELTS : International English Language Testing System

日常会話レベル以上の英語力があると回答した人の実数は209名(全回答者の17.7%)であった。

4) 会員番号の回答



会員番号の回答者数(名)

314名(26.7%)から、会員番号もしくは連絡先の回答があった。
(番号不明2名、休会等で照会不可11名を含む)

5) 部門の活動への参加協力についての考察

- ・部門の活動への参加協力について、全回答者の66.2%から参加協力出来るとの回答が得られた。学会参加には回答者の84.4%が参加協力できるとの回答があった。調査活動、研究会[学会]の運営には20%を超える回答があり、研究活動は17.5%、国際活動、翻訳活動についても10%程度の回答が得られた。
- ・国際活動への参加協力については、全回答者の13.7%から参加協力出来るとの回答が得られた。
- ・現在の英語力については、全回答者の17.7%が日常会話レベル以上の英語力があると回答し、論文読解が出来るとの回答が回答者の15.9%に留まっており、今後の研究活動等の推進のためには英語力の向上も課題であることが示唆された。
- ・部門の活動全般、国際活動等について、参加協力出来るとの回答を元に、積極的に活動や運営に関わる会員を増やしていきたいと考えている。